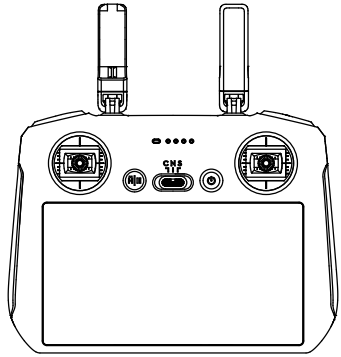
RC 2

ユーザーマニュアル

v1.0 2023.07



キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

トピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

本マニュアルの使用方法

凡例

⚠ 重要　　ヒントとコツ　　参考

初めてのフライト前にお読みいただくもの

DJI™はチュートリアルビデオと次の文書をご用意しています。

1. 製品情報
2. ユーザーマニュアル

初回使用前に、チュートリアルビデオを視聴し、製品情報をお読みください。詳細は、このユーザーマニュアルを参照してください。

チュートリアルビデオ

以下のアドレスにアクセスするか、QRコードをスキャンすると、製品の安全な使用方法の実演するチュートリアルビデオを視聴できます。

https://s.dji.com/guide62

© 2023 DJI All Rights Reserved.

目次

本マニュアルの使用方法 **3**
凡例 3
初めてのフライト前にお読みいただくもの 3
チュートリアルビデオ 3

製品の特徴 **6**
はじめに 6
概要 7

送信機の準備 **9**
チュートリアルビデオの視聴 9
バッテリーの充電 9
取り付け 10
送信機のアクティベーション 10

送信機の操作 **11**
バッテリー残量の確認 11
電源のオン／オフ 11
送信機のリンク 11
機体の制御 12
フライトモードスイッチ 14
飛行一時停止／ RTH ボタン 14
最適な伝送範囲 14
ジンバル＆カメラの操作 15
カスタムボタン 15
送信機の LED 16
送信機のアラート 16

タッチ画面の操作 **17**
ホーム 17
操作 18
クイック設定 19

コンパスのキャリブレーション **20**

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

ファームウェア更新 **21**
DJI Fly の使用 21
DJI Assistant 2（一般向けドローン用）の使用 21

付録 **22**
仕様 22
アフターサービス情報 23

© 2023 DJI All Rights Reserved.

製品の特徴

はじめに

DJI RC 2送信機はOCUSYNC™ 映像伝送技術[1]を搭載し、2.4 GHz、5.1 GHz、5.8 GHzの周波数帯域で動作します。[2] 最適な伝送チャンネルを自動選択し、1080p/60fps HDのライブビューを機体から送信機に伝送できます。5.5インチのタッチ画面（1920×1080ピクセルの解像度）に加えて、DJI RC 2には様々な制御とカスタムボタンも装備されているため、機体を簡単に制御でき、遠隔から機体設定を変更できます。DJI RC 2には、内蔵GNSS（GPS+Galileo+BeiDou）、Bluetooth、Wi-Fi接続など、たくさんの機能が搭載されています。

送信機には取り外し可能な操作スティック、内蔵スピーカー、32 GBの内部ストレージが含まれていますが、microSDカードを使用して、追加のストレージのニーズにも対応できます。

6200 mAh 22.32 Whのバッテリーによって、送信機の駆動時間は最大3時間になります。[3]

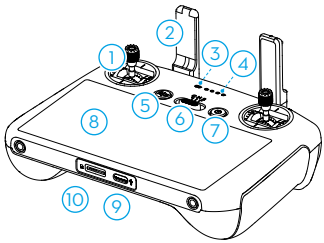
[1] 別の機体と使用する場合、DJI RC 2 送信機は、該当のファームウェアバージョンを自動で選択して更新し、リンクされた機体モデルの映像伝送技術を使用します。詳細については、リンクされた機体のユーザーマニュアルを参照してください。

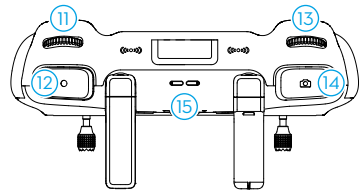
[2] 使用できる動作周波数帯は、国／地域によって異なります。詳細については、現地の法規制を確認してください。

[3] 以下の条件で測定：25℃のラボ環境下で、DJI RC 2 を DJI Air 3 と接続し、通常の飛行ステータスで1080p/60fps 動画撮影している状態。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

概要





1. **操作スティック**

   操作スティックを使用して、機体の動きを制御します。操作スティックは、着脱可能で簡単に収納できます。DJI Flyのフライトコントロールモードを設定します。

2. **アンテナ**

   機体制御信号と動画無線信号を中継します。

3. **ステータスLED**

   送信機の状態を示します。

4. **バッテリー残量LED**

   送信機の現在のバッテリー残量を表示します。

5. **飛行一時停止／RTH（Return-to-Home）ボタン**

   ボタンを1回押すと機体にブレーキがかかり、その場でホバリングを行います（GNSSまたはビジョンシステムが利用可能な場合のみ）。長押しすると、RTHを起動します。再度押すと、RTHはキャンセルされます。

6. **フライトモードスイッチ**

   Cine（シネ）、Normal（ノーマル）、Sport（スポーツ）の3種類のフライトモードを切り替えます。

7. **電源ボタン**

   ボタンを1回押すと、現在のバッテリー残量を確認できます。1回押し、次に長押しすると、送信機の電源オン／オフを切り替えられます。送信機の電源が入っているときに、1回押すと、タッチ画面のオン／オフを切り替えられます。

8. **タッチ画面**

   画面をタッチして、送信機を操作します。タッチ画面は防水ではありません。慎重に操作してください。

9. **USB-Cポート**

   送信機の充電や送信機とパソコンとの接続のために使用します。

10. **microSDカードスロット**

    microSDカードを挿入します。

11. **ジンバルダイヤル**

    カメラのチルトを操作します。

12. **録画ボタン**

    1回押すと、録画を開始／停止します。

13. **カメラ制御ダイヤル**

    ズーム制御用です。カメラビュー画面を開き、[設定] > [制御] > [ボタンのカスタマイズ]の順に移動して、DJI Flyで機能を設定します。

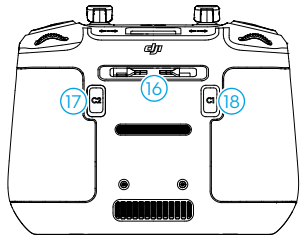
14. **フォーカス／シャッターボタン**

    ボタンを半押しするとオートフォーカスが作動し、全押しすると写真を撮影します。

15. **スピーカー**

    音声を出力します。

© 2023 DJI All Rights Reserved.



16. 操作スティック収納スロット

操作スティックの収納用です。

17. カスタムボタンC2

送信機を機体にリンクした後、DJI Flyで[カメラビュー] > [設定] > [制御] > [ボタンのカスタマイズ]の順に移動すると、ボタンの機能を確認したり、設定したりできます。

18. カスタムボタンC1

送信機を機体にリンクした後、DJI Flyで[カメラビュー] > [設定] > [制御] > [ボタンのカスタマイズ]の順に移動すると、ボタンの機能を確認したり、設定したりできます。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

送信機の準備

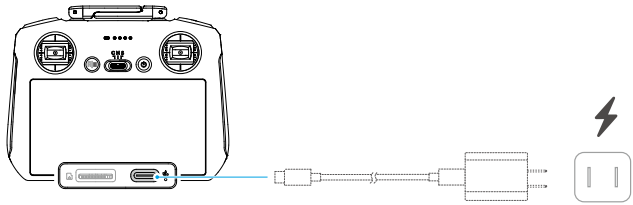
チュートリアルビデオの視聴

初回使用前に、以下のアドレスにアクセスする、もしくはQRコードをスキャンして、チュートリアルビデオをご視聴ください。

https://s.dji.com/guide62

バッテリーの充電

充電器を送信機のUSB-Cポートに接続します。送信機を完全に充電するには、約1時間30分かかります（9V/3A USB充電器を使用）。

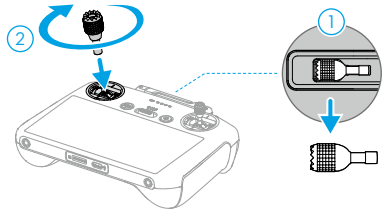


- 過放電を防止するため、少なくとも 3 か月に一度はバッテリーを充電してください。バッテリーは長期間保管すると、消耗します。

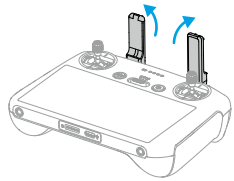
© 2023 DJI All Rights Reserved.

取り付け

1. 操作スティックを収納スロットから取り外し、送信機に取り付けます。



2. アンテナを展開します。



送信機のアクティベーション

初めて使用する前に送信機をアクティベーションする必要があります。アクティベーション中に送信機がインターネットに接続できることを確認してください。送信機をアクティベーションするには、以下の手順に従ってください。

1. 送信機の電源を入れます。言語を選択して「次へ」をタップします。利用規約とプライバシーポリシーをよく読み、「同意する」をタップします。確認後、国 / 地域を設定します。
2. Wi-Fi 経由で送信機をインターネットに接続します。接続したら、「次へ」をタップして続行し、タイムゾーン、日付、時刻を選択します。
3. DJI アカウントでログインします。アカウントを持っていない場合は、DJI アカウントを作成してログインしてください。
4. アクティベーションページで「アクティベーション」をタップします。
5. アクティベーション後、改善プロジェクトに参加するかどうかを選択してください。このプロジェクトは診断情報と使用データを自動送信し、ユーザーエクスペリエンスの向上に役立てることができます。DJI による個人情報の収集はありません。

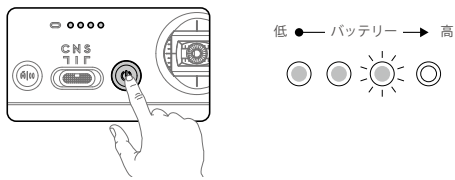
⚠ • アクティベーションに失敗した場合は、インターネット接続を確認してください。インターネット接続が正常であれば、再試行して送信機をアクティベーションしてください。問題が続く場合は、DJI サポートにお問い合わせください。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

送信機の操作

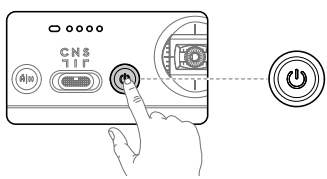
バッテリー残量の確認

電源ボタンを1回押すと、現在のバッテリー残量を確認します。



電源のオン／オフ

ボタンを1回押し、次に長押しすると、送信機の電源オン／オフを切り替えられます。



送信機のリンク

送信機をコンボとして購入した場合は、送信機はすでに機体にリンクされています。送信機と機体がリンクされていない場合は、以下の手順に従って、アクティベーションした後送信機と機体をリンクさせてください。

1. 機体と送信機の電源を入れます。
2. DJI Flyを起動します。
3. カメラビューで ●●● をタップし、[制御]を選択し[機体と再ペアリングする]を選択します。リンク中は送信機のステータスLEDが青色に点滅し、送信機がビープ音を鳴らします。
4. 機体の電源ボタンを4秒以上押し続けます。リンクの準備ができると、機体は短いビープ音の後に2回ビープ音を鳴らし、バッテリー残量LEDが連続して点滅します。リンクが成功すると、送信機はビープ音を2回鳴らし、ステータスLEDが緑色に点灯します。

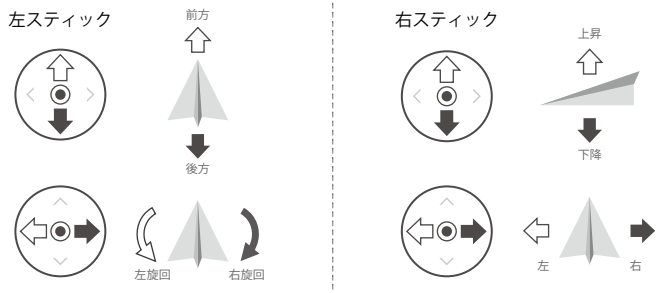
- リンクは、送信機が機体から0.5 m以内にある状態で行ってください。
- 新しい送信機を同じ機体にリンクさせると、すでにリンクされていた送信機は自動でリンク解除されます。
- 最適な動画伝送には、BluetoothとWi-Fiをオフにします。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

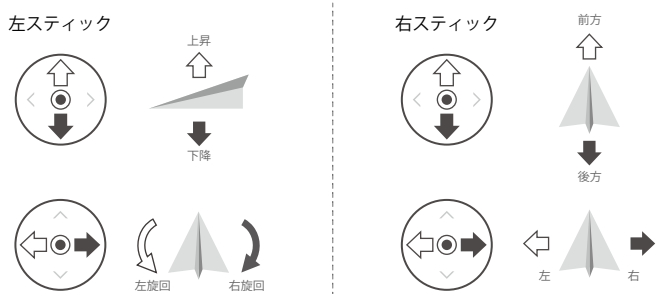
機体の制御

DJI Flyアプリで、あらかじめプログラムされている3つのモード（モード1、モード2、モード3）を使用でき、カスタムモードを設定することもできます。

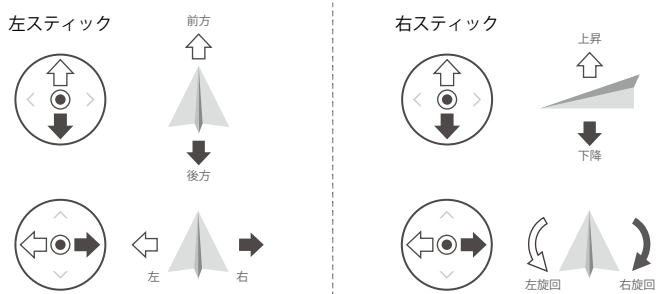
モード1



モード2



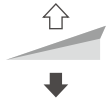
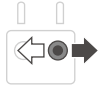
モード3



送信機のデフォルトの制御モードは、モード2です。本マニュアルでは、操作スティックの使用方法を説明するために例としてモード2を使用しています。

- スティックのニュートラル／中心点：操作スティックが中央にあります。
- 操作スティックの動き：操作スティックを中央位置から遠ざかるように倒します。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

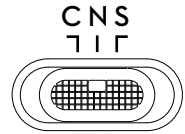
送信機（モード2)	機体	備考
		**スロットルスティック：**左スティックを上下に倒して、機体の高度を変更します。 • 上昇させるにはスティックを上に倒し、下降させるには下に倒します。 • スティックを中央に戻すと、機体はその場でホバリングします。 • スティックが中央位置から離れるほど、機体の上昇速度が速くなります。 モーターがアイドリング速度で回転しているときは、左スティックを使用して離陸させます。機体の高度を急激に変えないよう、操作スティックは優しくゆっくりと動かしてください。
		ヨースティック：左スティックを左右に動かして、機体の進行方向を制御します。 • スティックを左に倒すと機体は反時計回りに回転し、右に倒すと時計回りに回転します。 • スティックを中央に戻すと、機体はその場でホバリングします。 • スティックが中央位置から離れるほど、機体の回転速度が速くなります。
		ピッチスティック：右スティックを上下に動かすと、機体のピッチを変えられます。 • スティックを上に倒すと前進し、下に倒すと後進します。 • スティックを中央に戻すと、機体はその場でホバリングします。 • スティックが中央位置から離れるほど、機体の移動速度が速くなります。
		**ロール スティック：**右スティックを左右に動かすと、機体のロールを変えられます。 • 左に倒すと左に飛び、右に倒すと右に飛びます。 • スティックを中央に戻すと、機体はその場でホバリングします。 • スティックが中央位置から離れるほど、機体の移動速度が速くなります。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

フライトモードスイッチ

このスイッチを切り替えて、目的のフライトモードを選択します。

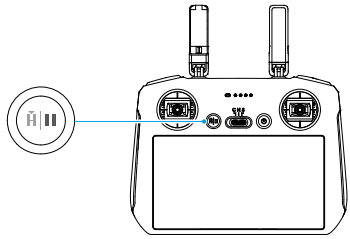
位置	フライトモード
S	スポーツモード
N	ノーマルモード
C	シネモード



- 様々な種類の機体のフライトモード機能の詳細については、機体のユーザーマニュアルの「フライトモード」のセクションを参照してください。

飛行一時停止／ RTH ボタン

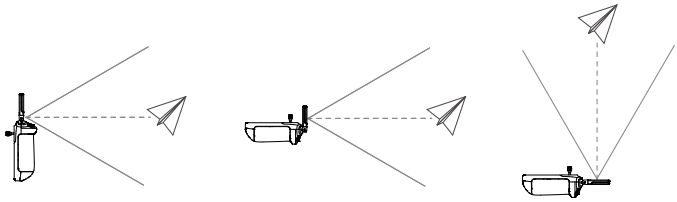
一度押すと、機体の動作にブレーキがかかり、その場でホバリングします。送信機からビープ音が鳴るまでボタンを長押ししてRTHを開始すると、機体は最後に記録されたホームポイントに戻ります。再度このボタンを押すと、RTHをキャンセルし機体を制御できるようになります。



最適な伝送範囲

機体と送信機間の信号は、アンテナと機体の位置関係が下の図で示すような状態になっているときに最も信頼性が高くなります。

最適な伝送範囲は、アンテナが機体の方を向いており、アンテナと送信機の背面との間の角度が180°または270°である場合です。

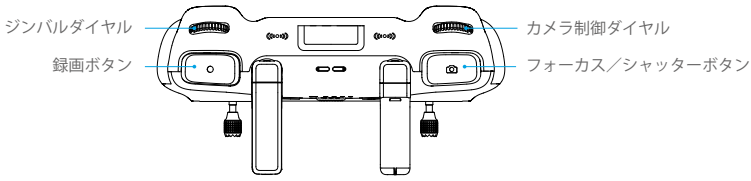


- 送信機と同じ周波数で動作する他のワイヤレス端末を使用しないでください。送信機が信号干渉を受ける場合があります。
- 飛行中において送信信号が弱い場合、DJI Flyにプロンプトが表示されます。アンテナを調整して、機体が最適な伝送範囲内にあるようにしてください。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

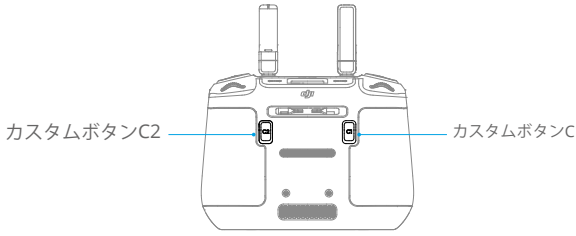
ジンバル＆カメラの操作

1. **フォーカス／シャッターボタン：**半押しでオートフォーカスが作動し、全押しで写真を撮影します。
2. **録画ボタン：**1回押すと、録画を開始／停止します。
3. **カメラ制御ダイヤル：**デフォルトではズームの調整に使用します。ダイヤル機能は、焦点距離、EV、絞り、シャッター速度、ISOの調整に設定できます。
4. **ジンバルダイヤル：**このダイヤルでジンバルのチルトを制御します。



カスタムボタン

DJI Flyの[設定]に移動し、[制御]を選択してカスタムボタンC1およびC2の機能を設定します。



© 2023 DJI All Rights Reserved.

送信機の LED

ステータスLED

点滅パターン		説明
——	赤色点灯	機体との接続が切断。
……	赤色点滅	機体のバッテリー残量が低下。
——	緑色点灯	機体と接続完了。
……	青色点滅	送信機は機体にリンク中。
——	黄色点灯	ファームウェア更新に失敗。
——	青色点灯	ファームウェア更新に成功。
……	黄色に点滅	送信機のバッテリー残量が低下。
……	水色に点滅	操作スティックが中央位置にない。

バッテリー残量LED

点滅パターン				バッテリー残量
●	●	●	●	76%～100%
●	●	●	◎	51%～75%
●	●	◎	◎	26%～50%
●	◎	◎	◎	0%～25%

送信機のアラート

エラーや警告がある場合、送信機からアラート音（ビープ音）が鳴ります。タッチ画面またはDJI Flyにプロンプトが表示される場合は注意してください。画面の上から下にスワイプして[ミュート]を選択すると、アラート音を無効になります。もしくは、音量バーを0にスライドすると、一部の警告アラート音が無効になります。

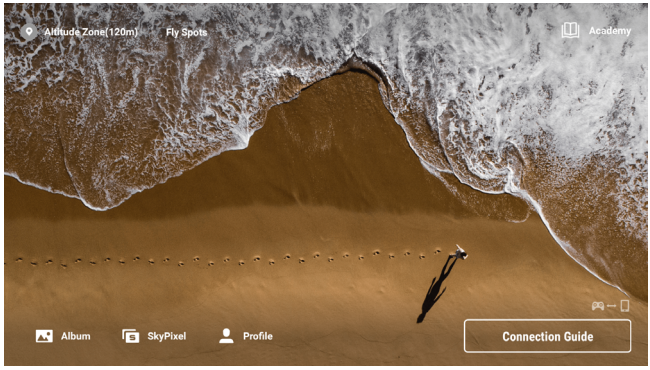
送信機はRTH中にアラート音を鳴らします。アラートをキャンセルすることはできません。送信機は、送信機のバッテリー残量が低下（6%～10%）するとアラート音が鳴ります。電源ボタンを押すと、バッテリー残量低下のアラート音をキャンセルできます。バッテリー残量が5%未満になると、アラート音が鳴り、重度のバッテリー残量低下をお知らせします。このアラート音はキャンセルできません。

⚠
- 各飛行の前に送信機を完全に充電してください。送信機は、バッテリー残量が低下するとアラート音が鳴ります。
- 送信機の電源がオンの状態で5分間操作をしないと、アラートが鳴ります。6分経過すると、自動的に送信機の電源が切れます。操作スティックを動かすか、任意のボタンを押すと、キャンセルされます。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

タッチ画面の操作

ホーム



フライスポット

近くの飛行場所や撮影場所を表示または共有、GEO区域の詳細を確認、他のユーザーが撮影した様々な場所の航空写真をプレビューできます。

アカデミー

上部右のアイコンをタップするとアカデミーに入ります。製品チュートリアル、飛行のヒント、飛行安全に関する注意、およびマニュアルを確認できます。

アルバム

機体アルバムまたはローカルに保存されたデバイスから写真や動画を表示できます。[作成]をタップして、[テンプレート]または[プロ]を選択します。テンプレートには、インポートされた映像の自動編集機能があります。プロでは、映像を手動編集できます。

SkyPixel

SkyPixelでは、他のユーザーが共有する動画や写真を表示できます。

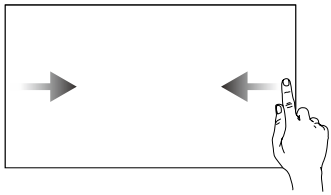
プロフィール

アカウント情報や飛行記録を表示、DJIフォーラムやオンラインストアにアクセス、ドローンを探す機能やオフラインマップ、ファームウェア更新／カメラビュー／キャッシュデータ／アカウントのプライバシー、言語などを設定できます。

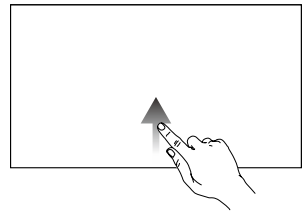
- 送信機に microSD カードが挿入されている場合、[プロフィール] > [設定] > [ストレージ] をタップすると、[内部ストレージ] もしくは [SD カード] から保存場所を選択できます。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

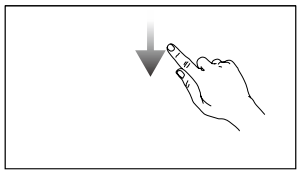
操作



画面の左または右から中央にスワイプすると、前の画面に戻ります。

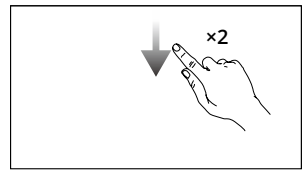


画面の下部から上にスワイプすると、DJI Flyに戻ります。



DJI Flyで、画面の上部から下にスワイプすると、ステータスバーが開きます。

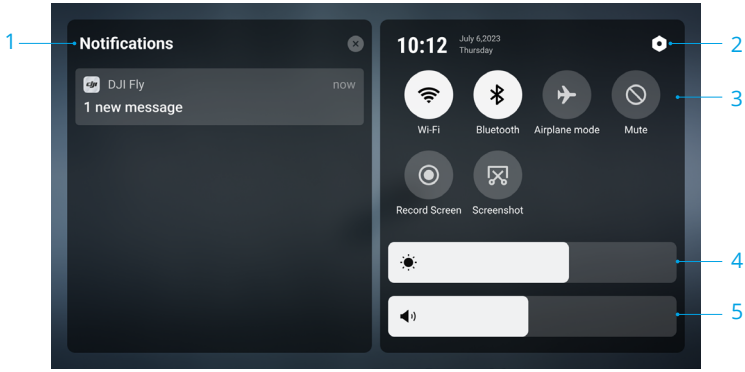
ステータスバーには、時刻、Wi-Fi信号、送信機のバッテリー残量などが表示されます。



DJI Flyで、画面の上部から下に2回スワイプすると、[クイック設定]が開きます。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

クイック設定



1. **通知**

   タップするとシステム通知を確認できます。

2. **システム設定**

   タップしてシステム設定にアクセスし、Bluetooth、音量、ネットワークなどの設定を行います。また、ガイドを表示して、制御とステータスLEDの詳細を確認することもできます。

3. **ショートカット**

   ：タップしてWi-Fiを有効または無効にします。長押しすると設定画面に移動し、Wi-Fiネットワークを接続または追加します。

   ：タップすると、Bluetoothを有効または無効にします。長押しすると設定画面に移動し、近くのBluetoothデバイスと接続します。

   ：タップすると、機内モードが有効になります。Wi-FiとBluetoothが無効になります。

   ：タップするとシステム通知がオフになり、すべてのアラート音が無効になります。

   ：タップすると、画面収録を開始します。

   ：タップすると、スクリーンショットを撮ります。

4. **明るさの調整**

   バーをスライドして画面の明るさを調整します。

5. **音量の調整**

   音量を調整するには、バーをスライドします。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

コンパスのキャリブレーション

電波干渉のある場所で送信機を使用した後は、コンパスのキャリブレーションが必要な場合があります。送信機のコンパスをキャリブレーションする必要がある場合、警告プロンプトが表示されます。警告メッセージをタップし、キャリブレーションを開始してください。それ以外の場合は、以下の手順に従い、送信機のキャリブレーションを行います。

1. 送信機の電源を入れ、[クイック設定]に移動します。
2. [システム設定] を選択し、下にスクロールして、[コンパス]をタップします。
3. 画面上の指示に従って、コンパスをキャリブレーションします。
4. キャリブレーションが成功すると、プロンプトが表示されます。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

ファームウェア更新

DJI Fly の使用

1. 送信機の電源を入れて、インターネットに接続されていることを確認します。
2. 新しいファームウェアが利用可能な場合、プロンプトが表示されます。プロンプトをタップして更新画面に入ってください。最新のファームウェアをダウンロード後、更新が自動的に開始されます。

⚠
- 更新する前に、送信機のバッテリー残量が20%以上あることを確認してください。
- 更新には約10分かかります。更新データのダウンロードにかかる時間は、インターネット速度により異なります。更新中は、送信機がインターネットに接続されていることを確認してください。

- 送信機を機体にリンクした後、DJI Flyで[カメラビュー] > [設定] > [制御] > [ボタンのカスタマイズ]の順に移動すると、ボタンの機能を確認したり、設定したりできます。

DJI Assistant 2（一般向けドローン用）の使用

1. お使いのパソコンでDJI Assistant 2（一般向けドローン用）を起動し、DJIアカウントでログインします。
2. 送信機の電源を入れ、USB-Cポート経由でパソコンに接続します。
3. 対応する送信機を選択し、[ファームウェア更新]をクリックします。
4. ファームウェアを選択します。
5. ファームウェアがダウンロードされるのを待ちます。ファームウェア更新が自動的に開始されます。
6. ファームウェア更新が完了するまで待ちます。

⚠
- 更新する前に、送信機のバッテリー残量が20%以上あることを確認してください。
- 更新には約10分かかります。更新データのダウンロードにかかる時間は、インターネット速度により異なります。更新中はパソコンがインターネットに接続されていることを必ず確認してください。
- 更新中はUSB-Cケーブルの接続を外さないでください。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

付録

仕様

映像伝送	
アンテナ	アンテナ×4、2T4R
映像伝送の動作周波数 [1]	2.4000～2.4835 GHz、5.170～5.250 GHz、5.725～5.850 GHz（日本国内では、5.8 GHz帯は使用不可）
伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz：<33 dBm (FCC)、<20 dBm (CE/SRRC/MIC（日本）) 5.1 GHz：<23 dBm (CE) 5.8 GHz：<33 dBm (FCC)、<14 dBm (CE)、<30 dBm (SRRC)
Wi-Fi	
Wi-Fi プロトコル	802.11 a/b/g/n/ac/ax
Wi-Fi動作周波数 [1]	2.4000～2.4835 GHz、5.150～5.250 GHz、5.725～5.850 GHz（日本国内では、5.8 GHz帯は使用不可）
Wi-Fi伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz：<26 dBm (FCC)、<20 dBm (CE/SRRC/MIC（日本）) 5.1 GHz：<23 dBm (FCC/CE/SRRC/MIC（日本）) 5.8 GHz：<23 dBm (FCC/SRRC)、<14 dBm (CE)
Bluetooth	
Bluetooth プロトコル	BT 5.2
Bluetooth動作周波数	2.4000～2.4835 GHz
Bluetooth伝送電力 (EIRP)	< 10 dBm

一般	
モデル番号	RC331
最大駆動時間 [2]	3時間
動作環境温度	-10℃～40℃
保管環境温度	1ヶ月以内：-30℃～60℃ 1～3ヶ月：-30℃～45℃ 3ヶ月～6ヶ月：-30℃～35℃ 6ヶ月超：-30℃～25℃
充電温度範囲	5℃～40℃
充電時間	1.5時間
充電タイプ	最大9 V/3 Aの充電に対応
バッテリー容量	22.32Wh (3.6V、3100mAh × 2)
バッテリータイプ	18650 Li-ion
材料	LiNiMnCoO2
GNSS	GPS + Galileo + BeiDou
内部ストレージ容量 [3]	32 GB + 拡張ストレージ（microSDカードを使用）
対応SDカード	UHS-I スピードクラス3以上のmicroSDカード

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

推奨microSDカード	SanDisk Extreme PRO 64GB V30 A2 microSDXC SanDisk High Endurance 64GB V30 microSDXC Lexar 256GB V30 A2 microSDXC Samsung EVO 64GB V30 microSDXC Samsung EVO Plus 128GB V30 microSDXC Samsung EVO Plus 256GB V30 microSDXC Kingston 256GB V30 microSDXC
画面の明るさ	700ニト
画面解像度	1920×1080
画面サイズ	5.5インチ
画面フレームレート	60 fps
タッチ画面操作	10ポイントのマルチタッチ対応
サイズ	操作スティック 未装着時：168.4×132.5×46.2 mm 操作スティック 装着時：168.4×132.5×62.7 mm
重量	約420 g

[1] 使用できる動作周波数帯は、国／地域によって異なります。詳細については、現地の法規制を確認してください。

[2] 以下の条件で測定：25 ℃のラボ環境下で、DJI RC 2 を DJI Air 3 と接続し、通常の飛行ステータスで 1080p/60fps 動画撮影している状態。

[3] 実際に使用可能なストレージは約 21 GB です。

アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、https://www.dji.com/supportをご確認ください。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

お問い合わせはコチラ

連絡先
DJI サポート

本内容は変更されることがあります。

https://www.dji.com/rc-2/downloads

本書についてご質問がある場合は、以下にメッセージを送信してDJIまでお問い合わせください。**DocSupport@dji.com**

DJIは、DJIの商標です。
Copyright © 2023 DJI All Rights Reserved.